

# StEPs

未就学児を対象とした  
州規模の視力  
スクリーニング検査

Statewide Eyesight Preschooler Screening



児童家族保健サービス  
(Child and Family Health Service)  
連絡先



StEPs プログラムについて

## StEPSとは何ですか？

StEPSは、州内の4歳児全員に無料で視力スクリーニング検査を提供するNSW保健省主導のプログラムです。

## なぜ子どもが視力検査を受ける必要があるのですか？

- 目の問題について、子どもたち自身が周囲に訴えることはごくまれです。
- 視力の低下について、子どもたち自身が早めに気づかない可能性もあります。
- 片方の視力が弱くても、もう一方の目でよく見えるため放置し、発見が遅れる場合があります。
- 本人が視力に問題を抱えていても、外見は異常がないため周囲が気づかない場合があります。
- 子どもの視力の問題を発見する唯一の方法は、片目ずつ別々に視力検査を行うことです。



## ご存知ですか？

- 子どもの「弱視」を早期に治療しなかった場合、視力の著しい低下、また最悪の場合は失明に至る恐れがあります。
- 視力に問題がある場合、早期の発見と治療によって、より良い成果を期待することができます。
- 両親が眼鏡をかけていたり、小さい頃から視力に問題があったりした場合、子どもも視力に問題をもつ可能性があります。
- 小児期の視覚問題には、8歳以降は治療できないものがあります。こうした問題が放置された場合、生涯視力の改善は期待できず、メガネでの矯正も困難となります。
- 低出生体重児および神経障害をもつ子どもは、眼疾患のより高いリスクを抱えています。

## 私の子どもにも視力検査を受けさせる必要がありますか？

NSW保健省は、州内のすべての子どもが就学前に視力検査を受けるよう勧めており、特にすべての4歳児が視力のスクリーニング検査プログラムに参加するよう奨励しています。

## どうすれば、私の子どもをStEPSプログラムに参加させることができますか？

各地域の保健機関 (Local Health District) では、プリスクールおよびチャイルドケア・センターにおいてすべての4歳児を対象とした**無料**の視力スクリーニング検査の実施を目標としています。お子さまの同検査への参加をご希望の方は、同意書に必要事項をご記入のうえ、プリスクール/チャイルドケア・センターにご返送ください。

また4歳児は、最寄りの児童家族保健サービス (Child & Family Health Service) を通じて**無料**で視力検査を受けることもできます。児童家族保健サービスの所在地・連絡先は当パンフレットの裏面に記載されています。



## どうすれば、子どもに視力の問題があるかどうか分かりますか？

お子さまの視力スクリーニング検査の結果は、保護者の方々に通知されます。視力に問題があることが発見された場合、管轄の地域保健機関はその旨を通知し、専門医による詳細な検査を受けるように勧めます。

子どもの目は8歳頃まで発達を続けるため、この時期に正常な発育を確認してあげることがとても大切です。

StEPSプログラムはあくまで視力のスクリーニング検査プログラムであり、詳細な診断評価を行うものではありません。お子さまの視力について何かご懸念をお持ちの方は、視力の専門家による詳細な検査を受けさせるようお勧めいたします。